



普及啓発活動を行ってきました。その後、平成19年に、現在の「ウィンタースポーツ推進協議会」に改め、活動を転倒事故防止に関することだけでなく、冬を安全・安心・快適に過ごすとともに、冬を楽しむための環境づくりを通じて、地域社会へ貢献することを目的に産学官で連携し継続的に活動を行っています。

「雪は天から送られた手紙」と中谷宇吉郎氏の有名な言葉にあるように、美しく、魅力的で、まさに天からの贈りものです。とともに、良いことばかりでもなく、雪に馴染みのない方や雪を知っている人にとっても、冬の生活では大変なことも沢山あります。皆さんの冬の生活が今よりもっと楽しく、もっと快適になるように、今後も活動が続けていければと思います。何かひとつでも皆さんのもとへ届き、力になれば幸いです。



砂箱を利用しよう! 『砂箱 (すなばこ)』をご存知ですか?

利用方法



自分が滑ると思ったところや、つるつる路面で危ないなと思ったところなどを見つけたら、撒いてみてください。自分のためにもなりますし、後ろを歩く人のためにもなります。

《使い終わった空の袋 (空のペットボトル) は、砂箱の“容器入れ”の中に入れてください。》

砂箱の種類

砂箱にもいろいろな形や色に種類があります。使い方は一緒です。



他にも市内には違った形の砂箱があります。とってもユニークな形のものもあります。見つけてみてね!

★札幌市中心付近の砂箱の設置箇所については協議会発行のパンフレット「札幌雪みちガイド」の中に載っています。

皆さんは冬になると現れる「砂箱」をご存知でしょうか? あれば誰が? どう使うものなのか? 一度は考えたことがあるか? と思います。

大きな交差点などにある砂箱には、つるつる路面を滑りにくくするための砂が入っています。砂の入っているのは、砂袋タイプとペットボトルタイプがあります。

砂箱の砂は、誰でも自由に利用できるものです。この冬には是非、滑ると思ったら、活用してみてくださいね。

- すな豆知識●
- Q. 「砂箱の砂は、普通の砂と違うの?」
A. 砂箱に入っている砂は、海辺や砂場の砂とは違います。石を細かく砕き、大きさを揃えて、塩分を含まず乾燥させたものです。粗いので散布した歩道が雪や氷に刺さり込み、滑りにくくなります。
- Q. 「砂って、どれくらいの密度で撒いたらいいの?」
A. だいたい目安としては、1m内にペットボトル(500ml)で1つくらいがちょうどいいと思います。
- Q. 「砂箱の砂は、普通の手にとつても、どれくらいいいの?」
A. そうでもない、いざ砂を手にとつても、どれくらいいいの? そうですね。あくまで目安ですが、まいてみようと思ったときに思い出して、参考にしてみてください。

凍結路 賢く歩く 人集う

雪鬼

雪を見ずとも雪を感じ 冬にならずとも冬の匂いを知る ウインターライフな俳句

<“つるつる路面特派員” 募集内容>

歩道の路面状況を観察し、携帯電話を使って“滑ると思ったとき”に写真と併せて報告いただきます。

- 活動実施期間 2011/12/1(木) -2012/3/10(土)
(情報提供期間)
- 特派員募集期間 2011/11/20(日) -2012/2/29(水)
- 応募条件
 - ・札幌市内に在住、または、勤務されている方。
 - ・携帯電話を所有し、メール送信が可能な方。(※通信料は各自でご負担願います。)
 - ・期間終了後のアンケートにご協力いただける方。
- お申し込み方法: 携帯電話から直接お申し込みいただけます。
下記のQRコードからアクセスしてお申し込みください。



「つるつる路面特派員」募集!

冬の歩道や横断歩道上にできる「つるつる路面」。市内では毎年多くの人々が転倒しています。当協議会では、地域の皆さまのご協力のもと、市内で発生する「つるつる路面」を観察し、その情報をホームページを使って皆さまと共有し、お出かけの際の参考として活用していただくことで、冬道での転倒防止に役立てていく取り組みを実施します。

今年も募集します!
札幌の雪みちのお助け隊!



雪のクイズの答え
正解は
20グラム
です。

真冬に空から降ってくる雪は非常に軽くふわふわしたものです。たとえば、2リットルのペットボトル1本分の水を集めると、約2キログラムの重さになりますが、パウダースノーと呼ばれるふわふわの雪は、1立方センチで0.01グラムぐらいですから、たった20グラムにしかなりません。

★「雪」について、もっと詳しく知りたい人は、「転ばないコツおしえます。」ホームページの「雪の不思議 路面の不思議」を見てみてね!
⇒ <http://tsuruturu.jp/fushigi/fushigi3.html>